

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年9月24日

【評価実施概要】

事業所番号	272500935
法人名	社会福祉法人延寿福祉会
事業所名	グループホームたんぼぼハウス
所在地 (電話番号)	〒039-4301 青森県上北郡六ヶ所村泊字川原1396番1 (電話) 0175-77-3106

評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年8月6日	評価確定日	平成21年9月24日

【情報提供票より】(平成 21年 7月 22日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 13年 12月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	6 人	常勤 6人, 非常勤 人, 常勤換算	4.4人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋建て 造り		
	1 階建ての 階 ~ 1 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	10,000 円	その他の経費(月額)	15,000 ~ 冬期16,500 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 750 円			

(4) 利用者の概要(7月 22日現在)

利用者人数	9 名	男性 3 名	女性 6 名
要介護1	0 名	要介護2	1 名
要介護3	6 名	要介護4	1 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢 平均	83.5 歳	最低	57 歳
		最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	尾鯨診療所 泊診療所
---------	------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>街から離れた場所にあり、日常的に地域の方が立ち寄ることは難しいが、積極的に地域の行事や外出に努めており、また併設のデイサービスセンターとの交流も利用者の楽しみごととなっている。利用者の要介護度が高く、できることが少なくなっているが、会話を通じて少しでもできることを促したり、生活の充実感を味わえるようなケアに取り組んでいる。</p>

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>理念の見直しや評価の意義、介護計画、プライバシーの保護等改善に向けて取り組んでいる。しかし、地域への啓発等、改善されていないものもあり現在、改善に向けて取り組んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員会議で取り上げ職員全体で、改善に向けて取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>2ヶ月に1回開催される運営推進会議では、外部評価の結果や困難事例の検討、グループホームの運営状況の報告等が行われ、運営の改善に向け討議されている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>利用料金を現金払いとしていることから、最低、月1回家族と面談できる機会や月1回発行の「便り」がある。また家族との連絡も頻繁に行われており、その都度、意見等聞き、運営に反映させている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>郊外という立地条件で気軽に近隣の住民との交流はできていないが、積極的に地域の祭りや行事などにでかけ、交流を図っている。また認知症やグループホームに対する理解や啓発活動の実施に向け検討している。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念の見直しを行い、利用者の尊厳と地域との繋がりを大切にしたい理念を作り上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝のミーティングで唱和し、日々理念を確認したり、職員個々が記入する自己評価シートにより、理念の実現状況を確認したりしている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	地域行事への参加や併設の支援センター経由で相談対応しているが、地域での普及活動等が行われていない。		町から離れていることもあり、日常的な交流が難しいが積極的に地域へ出向き交流がなされている。しかしながら、グループホームの理解や認知症普及活動が行われておらず、今後の地域での活動に期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価の意義を理解し、職員会議や運営推進委員会で改善事項を検討し、改善に取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議において、サービス提供困難事例や評価事業の改善事項を検討し、サービス向上に役立てている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>普段から、電話で報告や相談をしサービスの質の向上につなげている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>現に制度を利用する利用者はいないが、所長が出席した権利擁護に関する研修会の資料を閲覧できるようにしている。</p>		<p>伝達研修をするなどし、さらに理解を深めていくことが望まれる。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待に関する研修資料を閲覧し、虐待のない介護を実践している。</p>		<p>伝達研修をするなどし、さらに理解を深めていくことが望まれる。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時は、十分に説明を行い理解を得ている。また面会時等質問があれば丁寧に対応している。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月1回の便りを発行し、利用者の状況を報告している。併せて預かり金の収支状況も報告している。また面会の際にも近況を報告している。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議への出席や面会時を利用して、家族等から意見等を聞き、運営に反映させている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>普段から、法人内の職員との交流があり、馴染みの関係を築いており利用者へのダメージを与えないようにしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修、職場内研修あるいは自己評価シートを活用した指導等、職員の育成に取り組んでいる。所長が出席した研修等の資料を閲覧できるようにしているが、外部研修への参加は所長が主となっている。		伝達研修や職員が外部研修を受けられる機会を増やし、一層の研修の充実に期待したい。
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	村内にグループホームが1箇所だけであり、気軽に交流できる環境になく、所長が広域のグループホーム協議会への参加することにとどまっている。		広域のグループホーム協議会を活用し、交流を持ち、サービスの質を向上させていくことに期待したい。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前の見学や空きベットを利用したショートステイを活用し、入居につなげている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者との会話を多くもつことにより、利用者の状態を把握し、会話の中から利用者に学んだり、喜怒哀楽を共有し、共に支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人あるいは家族に希望等を確認している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	面会時に家族から意見を聞いたり、会議に参加してもらったりし、利用者本位の介護計画の作成に努めている。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状態変化等があった場合は、その都度、家族から意見を聞きながら計画を見直している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	外泊時、家族対応が困難な場合の移送や車椅子の貸し出し等、状況に応じて柔軟に対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
、					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>個々の希望にそってかかりつけ医へ受診している。また緊急時、かかりつけ医以外への受診が必要な場合は、事前に家族と協議し、受診先等を確認している</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>医師、家族と話し合い、連携を保ちながら方針を共有している。</p>		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者一人ひとりにあったコミュニケーションで利用者のプライバシーを損なうことなく、また介助が必要なときもさりげなく行っており、個人情報についても配慮されている。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>日課や週間予定等はあるものの、本人のペースに合わせ、できるだけ希望にそえるように支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>準備や片付けは、ほとんど職員が行っていたが声かけにより、嗜好や味付けなどを確認しながら会話し、ゆったりと食事をされている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>職員配置の都合で入浴できないときもあるが、代替の日や時間によりできるだけ利用者の希望に合わせて支援している。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>生活歴を本人や家族より確認し、できることが少ないながらも共に作業するなどして支援している。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>声かけし、外出を促し日常的に外出するように支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修を実施し、理解を深め身体拘束のないケアをしている。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけない意義を理解し、できるだけホールで一緒に過ごし、対応している。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回(部分訓練・夜間想定)訓練を実施している。		地域(ホテル・ガソリンスタンド他)に災害協力員をお願いしているが、訓練に参加されていないので、地域と共同での訓練が望まれる。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の都度、担当職員がメニューを決めるので、担当職員間やメニューの記録を確認し、栄養バランスや献立の偏りなどに注意し、献立を作成している。食事や水分の摂取量を把握・記録し、補食や時間をずらすなどし、対応している。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを整備し、対応している。日々、ホーム内を次亜塩素酸で消毒している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節に合わせ利用者と共に作成した作品を飾る等落ち着いた環境となっている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>できるだけ使い慣れたものを持ち込んでもらい、利用者が安心して過ごせるようにしている。</p>		

 は、重点項目。